

出合い

森尾 富美子

「お待ちしてました」「先生お元気になられましたねえ」「思っていたよりなられていきますので安心しました」等、矢継ぎ早に笑顔で挨拶をしてくれました。

平成二十四年八月十一、二日 本山町立沢ヶ内小学校の教え子達との同窓会。続いて八月十四日に本山町立木能津小学校の子達との同窓会がありました。

この教え子達との出合いは、昭和三十年四月と三十三年四月でした。五十七年も前のことになります。

私は、高知大学教育学部乙類でしたので二十歳での教師でしたのに、それでも親子共々に「先生」と呼んでいただき慕ってくれたことに感謝しています。

昨年の木能津小学校の同窓会では、私の喜寿の祝いを兼ねて計画したそうです。私は同窓会として参加したので、喜寿のお祝いの記念品を贈られた時には驚きましたが、子ども達の気持ち素直に受け取りました。

喜寿の件については、S君のお母さんがアドバイスされたそうです。

半世紀以上過ぎているのによく私の年齢を記憶して下さったものだと思います。

同窓会の場所は、S君が九年かけて新築したログハウスにてでした。所有している山から丸太を切り出し、設計図、大工は色々と研究して自力で取り組み完成したようです。

大黒柱を両手で抱きかかえましたが、指先は届かず「すごい」の一言でした。毎年の年賀状には、途中の建築の様子が印刷されていたので仕上がるのを楽しみにしていました。

家のテラスには、大きなバーベキューの窯が設営されていて、上部は藤の木で覆われていて涼しく、みんな大切れの肉等を焼いて美味しくいただきました。

お母さんは赤飯を炊いて下さり子ども達へのおみやげにもしていました。お母さん、子等の優しさ、思いやりに心が打たれました。

実は昨年一月二十日～三月四日までの四十五日、医療センターに入院していましたので同窓会に出席できるか心配でした。とにかく教え子達に会いたい一念でリハビリに励み、やっと参加することが出来たのでした。

今年の同窓会は、去年T君が「今新築しゆうので見に来てよ」と言ったことから計画されました。

「去年よりはすごく元気になりましたねえ」と喜んでくれました。部屋に入ると壁には、感謝状、表彰状等が掛けてあり土建業の社長として地域発展のために活躍していることが理解できました。

長野、東京、大阪等から今年も参加して思い出話に花が咲いていました。

私はお礼に「清夜の吟」を吟詠しました。

お開きの時間が迫っていたので、R子さんの娘さんの諏訪ナンバーの車が到着しR子さんを見送りました。その時「ありがとう」という気持ちで胸が熱くなりいつの間にか頬を伝わるものを感じました。

私も帰路につこうとすると「先生元気でいてね、又お会いしましょう」とみんなが笑顔で声をかけてくれました。

次回の同窓会にも参加できるように健康第一で過ごしたいと思っています。皆様のご健康とご多幸を心より祈念します。